

館山市Webアンケート調査
報告書（案）

平成26年12月

館山市

目 次

1. 調査の設計	1
(1) 調査の趣旨	1
(2) 調査の方法	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者プロフィール	2
① 年代	2
② 居住年数	2
③ 家族構成	3
④ 職業	3
⑤ 出身地	4
(2) 館山市について	5
① 認知度	5
② 訪問回数	5
③ 同行者	6
④ 館山市への訪問を決めた人	6
⑤ 館山市への訪問を決めた人の年代・性別	7
⑥ 情報入手手段	8
(3) 館山市の観光について	10
① 来訪時期	10
② 宿泊動向	11
③ 宿泊日数（総数）	12
④ 館山市内での宿泊日数	12
⑤ 立ち寄った市町村	13
⑥ 館山市までの交通手段	13
⑦ 市内での交通手段	14
⑧ 観光の期待度と満足度	14
⑨ 特に良かったところ・悪かったところ	16
⑩ 全体的な満足度	17
⑪ 再訪の意向	17
⑫ 観光資源の認知度	18
⑬ 館山市のイメージ	19
(4) 国内旅行一般について	19
① 1年間の国内旅行の回数	19
② 国内旅行一人あたりの予算	20
(5) 移住について	21
① 転出理由	21
② Uターン希望・実現に必要なこと	22

1. 調査の設計

(1) 調査の趣旨

第4次館山市総合計画を策定するにあたり、首都圏などから見た館山市、観光客から見た館山市のイメージ・位置づけを把握するために実施するもの。

(2) 調査の方法

(ア) 調査対象

- ①千葉県内の右記の地域（市川市、浦安市、松戸市、柏市、流山市）
- ②首都圏在住者（東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県）

県内	市川市	浦安市	松戸市	柏市	流山市
1,000	全体で 1,000				
県外	東京都	神奈川県	埼玉県	茨城県	
1,000	250	250	250	250	

(イ) 調査方法

- ・インターネット調査会社にモニターとして登録している会員に対してアンケートを依頼した。
- ・男女比は半々となるように回収した。

(ウ) 調査時期

平成 26 年 11 月 20 日～11 月 23 日

(エ) 調査結果の見方

- ・集計結果は各設問の標本数を 100%とした百分比 (%) で表示した。原則として小数点第 2 位を四捨五入してあるため、その結果としてこの比率の合計が 100%にならないこともありうる。
- ・1 人の回答者に 2 つ以上の回答を認めた設問では、百分比 (%) の合計は、100%を上回る場合がある。
- ・本文中の「n」はその設問についての有効回答数を示している。
- ・文中の「SA」、「MA」は以下の略称である。
- ・「SA」(Single Answer) : 単一回答形式
- ・「MA」(Multiple Answer) : 複数回答形式
- ・本文中のグラフ、表中の選択肢は、見やすさに配慮するために、語句を簡略化した表記としてある場合がある。
- ・本文中のグラフは、見やすさを配慮し、複数のものをまとめてある場合がある。

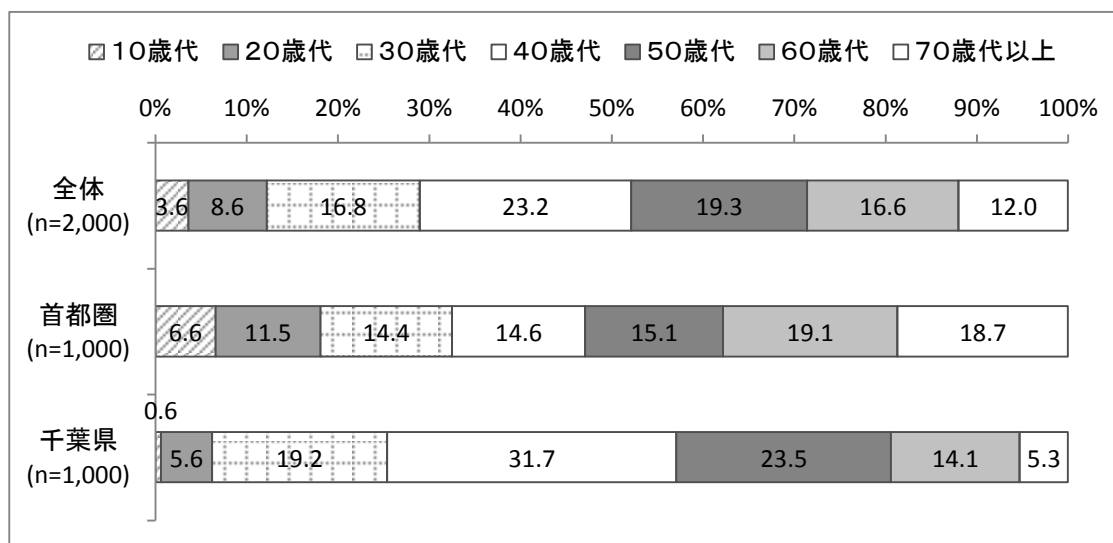
2. 調査結果

(1) 回答者プロフィール

① 年代

- ・ 回答者の年代は、40歳代が最も割合が高く、次いで30歳代と50歳代がほぼ同割合となった。
- ・ 首都圏の回答者は50歳以上が半数を超え、千葉県では30歳代と40歳代で半数を占めている。千葉県では10歳代はほとんどみられない。

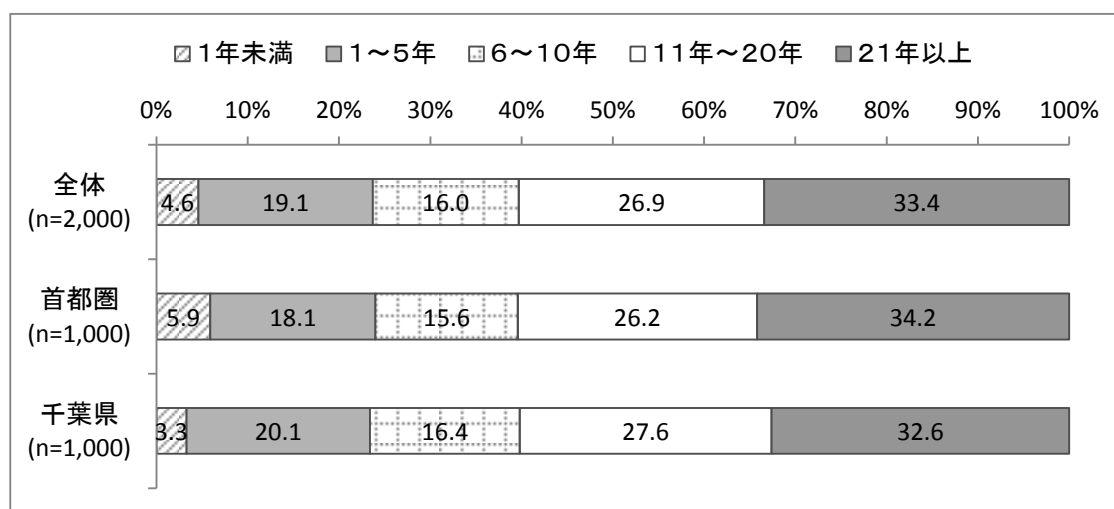
図表番号 1 年代



② 居住年数

- ・ 回答者の居住年数は21年以上が最も割合が高く、次いで11～20年となった。
- ・ 回答者の居住地による差はほとんどみられない。

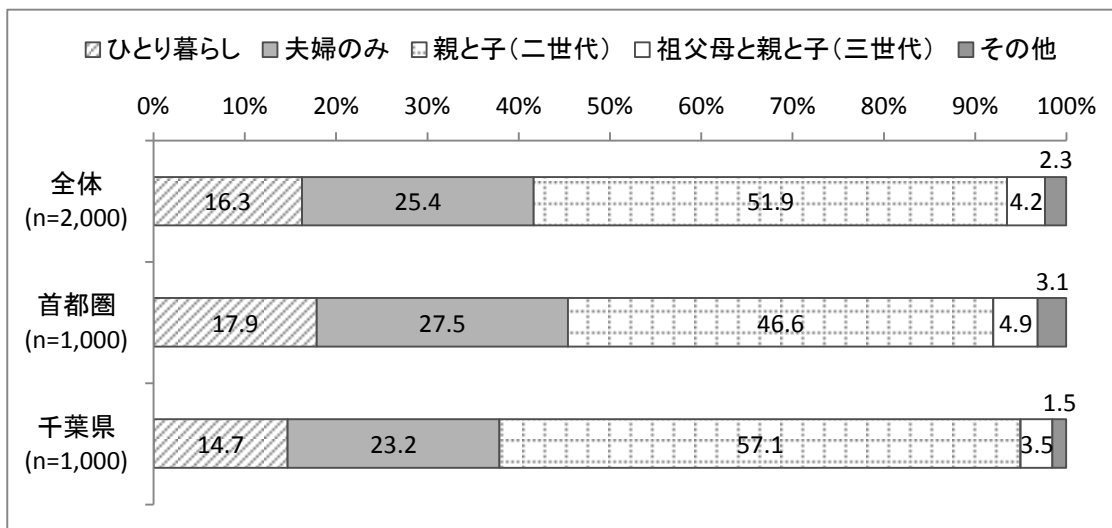
図表番号 2 居住年数



③ 家族構成

- ・ 回答者の家族構成は、親と子の二世帯が半数を占め、次いで夫婦のみとなった。
- ・ 首都圏より、千葉県のほうが二世帯家族の割合が高くなった。

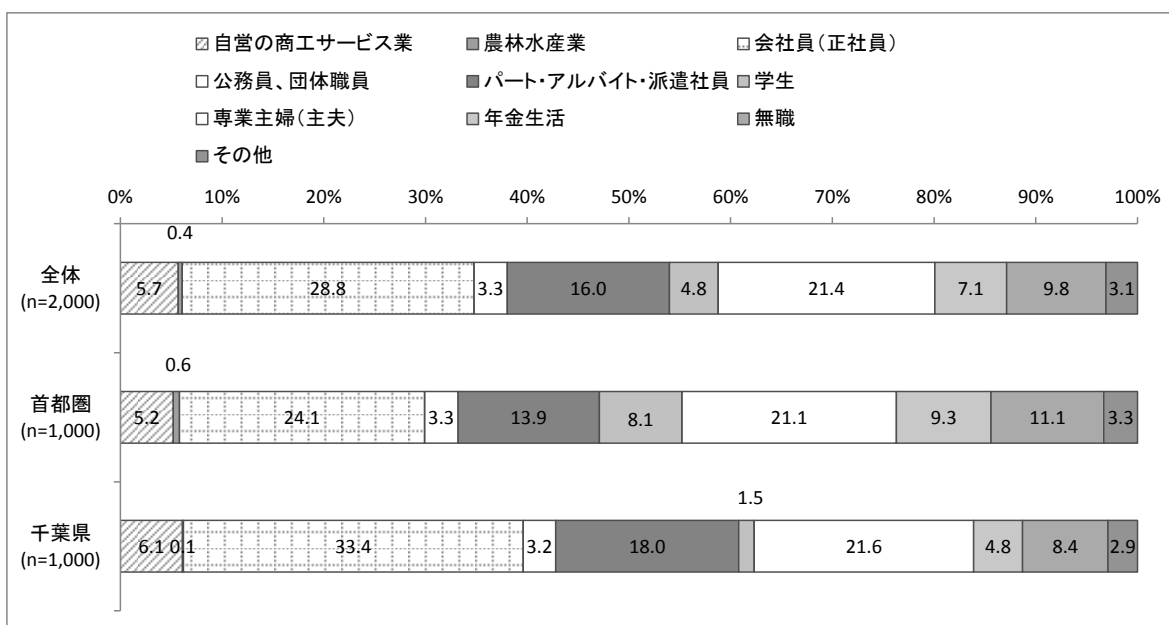
図表番号 3 家族構成



④ 職業

- ・ 回答者の職業は、会社員がもっと割合が高く、次いで専業主婦（主夫）となった。
- ・ 首都圏より、千葉県のほうが会社員の割合が高く、首都圏では学生や無職、年金生活の割合が高くなっている。

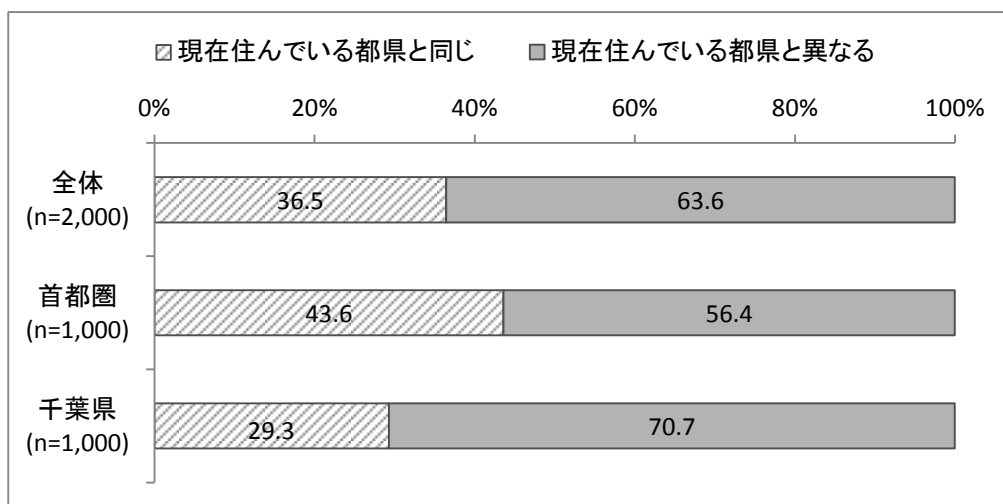
図表番号 4 職業



⑤ 出身地

- ・ 出身地は、現在住んでいる都県と異なる地域である割合が半数 6 割を超えている。
- ・ 首都圏のほうが、千葉県より、現在住んでいる都県と同じ割合が高い。
- ・ 千葉県は、7 割が他県から転入してきている。

図表番号 5 出身地



- ・ 出身地を都道府県別に上位 10 位で見ると、東京都が最も割合が高く、神奈川県、埼玉県、北海道と続いている。
- ・ 首都圏では、東京都に次いで北海道、千葉県、新潟県となっている。
- ・ 千葉県では、東京都が 2 割を超えて顕著に高く、上位は首都圏で占められている。

図表番号 6 出身地(都道府県別 上位 10 位)

単位: %

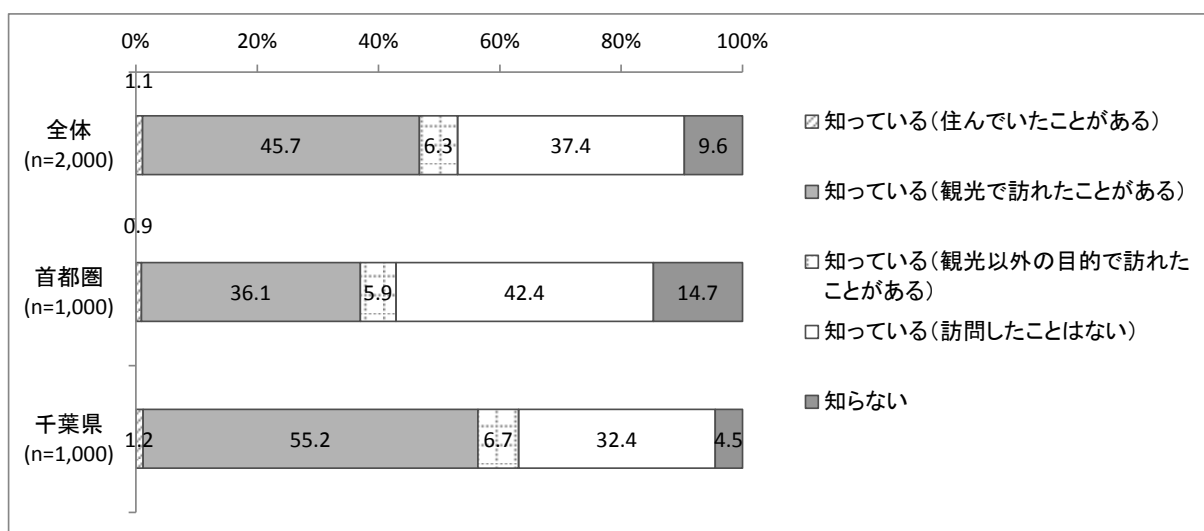
	全体 (n=2,000)		首都圏 (n=1,000)		千葉県 (n=1,000)	
1	東京都	17.2	東京都	11.0	東京都	23.4
2	神奈川県	3.2	北海道	2.7	神奈川県	4.2
3	埼玉県	2.8	千葉県	2.5	茨城県	3.5
4	北海道	2.7	新潟県	2.4	埼玉県	3.4
5	大阪府	2.6	大阪府	2.3	大阪府	2.8
6	茨城県	2.4	埼玉県	2.2	北海道	2.6
7	新潟県	2.3	神奈川県	2.2	新潟県	2.2
8	愛知県	1.8	群馬県	2.0	愛知県	2.1
9	長野県	1.7	長野県	1.8	兵庫県	1.9
10	兵庫県	1.7	福島県	1.5	福岡県	1.9

(2) 館山市について

① 認知度

- ・ 館山市の認知度は、“知っている”は9割を超え、認知度は高い。
- ・ 首都圏では、“知っている”の割合は85.3%と、千葉県より低い。
- ・ “知っている”の内訳では、「観光で訪れたことがある」は千葉県では半数を超え、首都圏では「知っているが訪問したことはない」が最も割合が高く4割を占める。

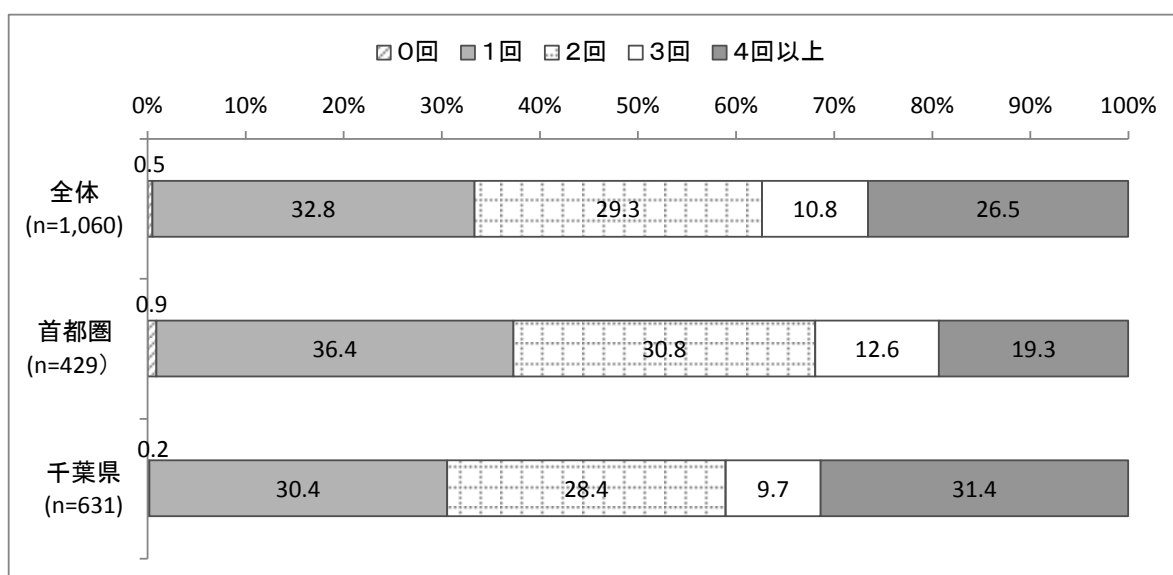
図表番号 7 館山市の認知度



② 訪問回数

- ・ 訪問経験のある回答者（「住んでいたことがある」も含む）の観光等による訪問回数は、1回が最も割合が高い。
- ・ 首都圏と千葉県を比較すると、特に、4回以上の割合が千葉県で高くなっている。

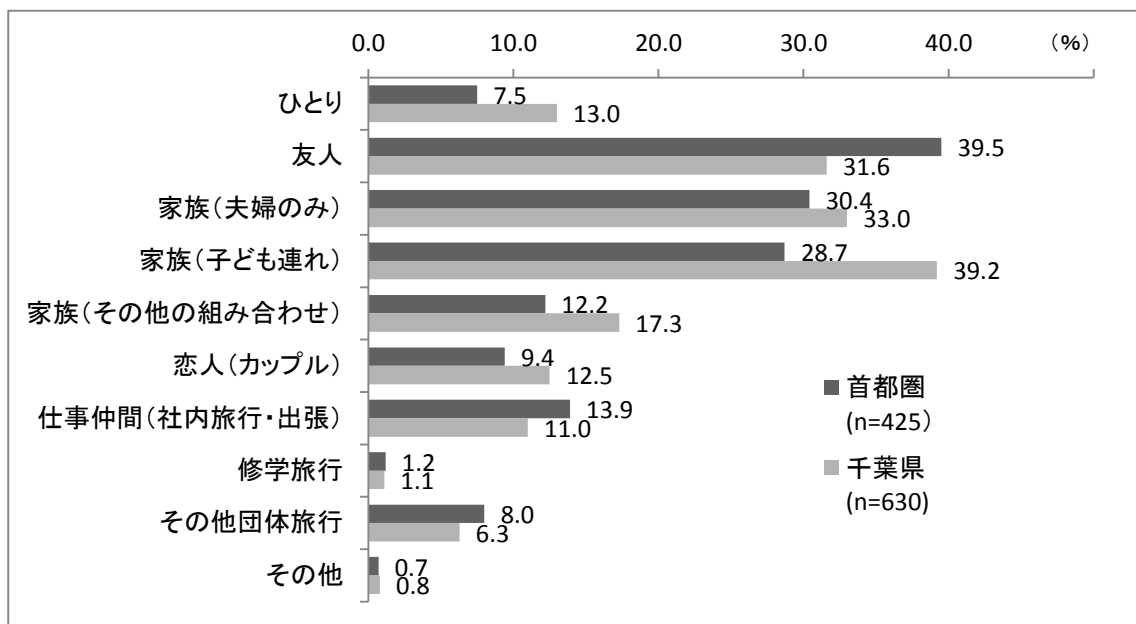
図表番号 8 訪問回数



③ 同行者

- ・ 館山市への同行者は、首都圏では「友人」が最も割合が高いが、千葉県では「家族（子ども連れ）」が最も割合が高い。
- ・ 千葉県では、“家族連れ”の割合が高いのに対して、首都圏では「友人」や「仕事仲間」、「団体旅行」が千葉県より高くなっている。

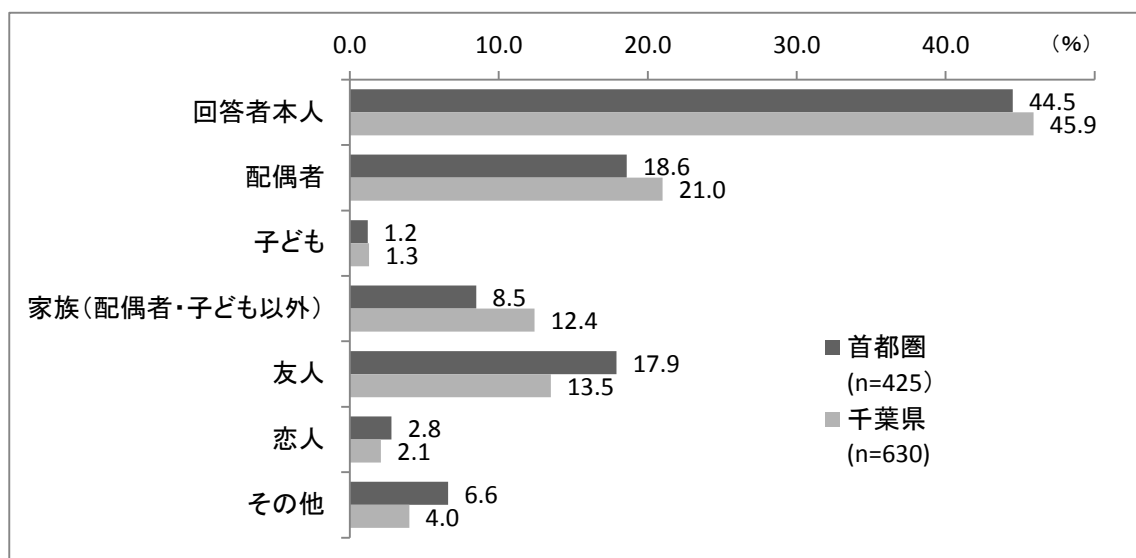
図表番号 10 同行者



④ 館山市への訪問を決めた人

- ・ 館山市への訪問を決めた人は、「回答者本人」が最も割合が高い。
- ・ 首都圏では、「友人」の割合が千葉県に比べて高い。

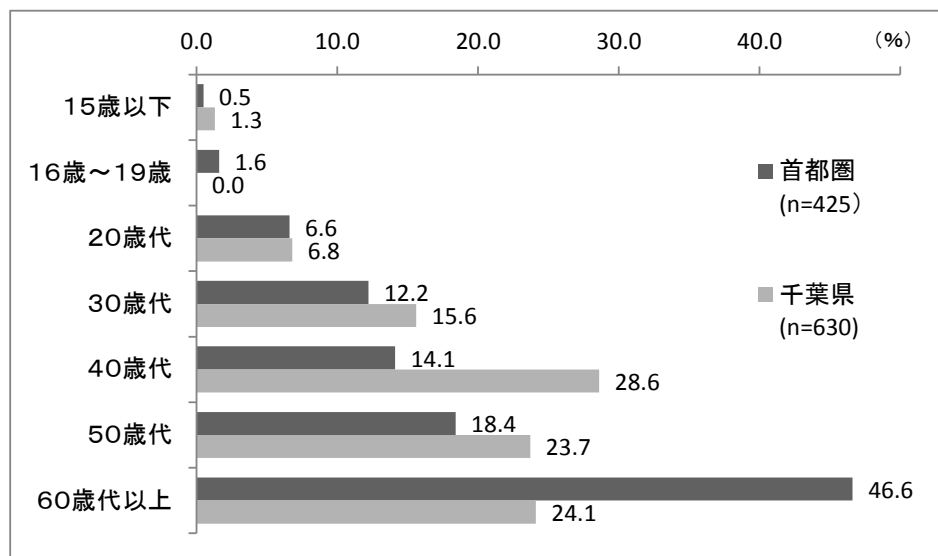
図表番号 11 館山市への訪問を決めた人



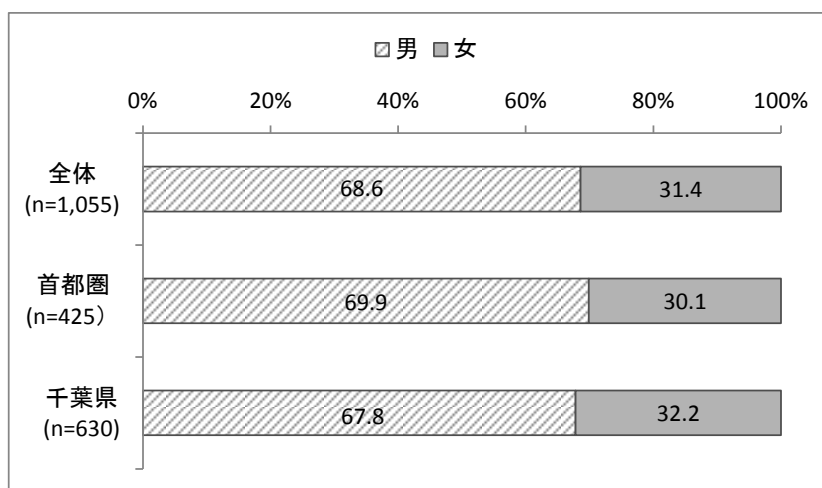
⑤ 館山市への訪問を決めた人の年代・性別

- ・ 館山市への訪問を決めた人は、首都圏では 60 歳以上が最も割合が高く、千葉県では 40 歳代が最も割合が高い。
- ・ 19 歳以下の未成年の割合は低い。
- ・ 訪問を決めた人の性別は、首都圏、千葉県とも男性が約 7 割を占め、違いはみられなかった。

図表番号 12 訪問を決めた人の年代



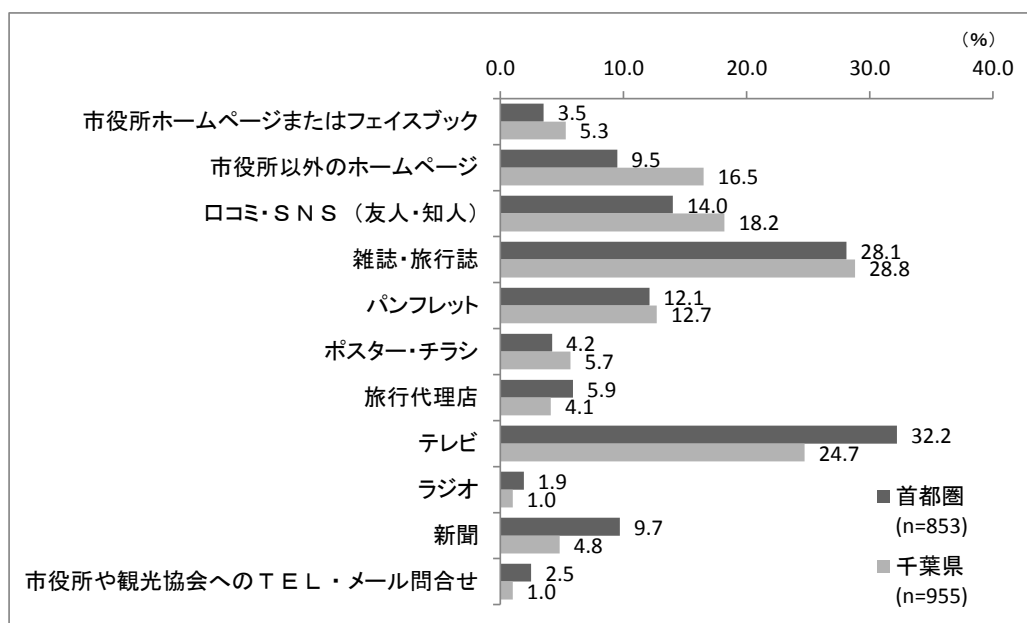
図表番号 13 訪問を決めた人の性別



⑥ 情報入手手段

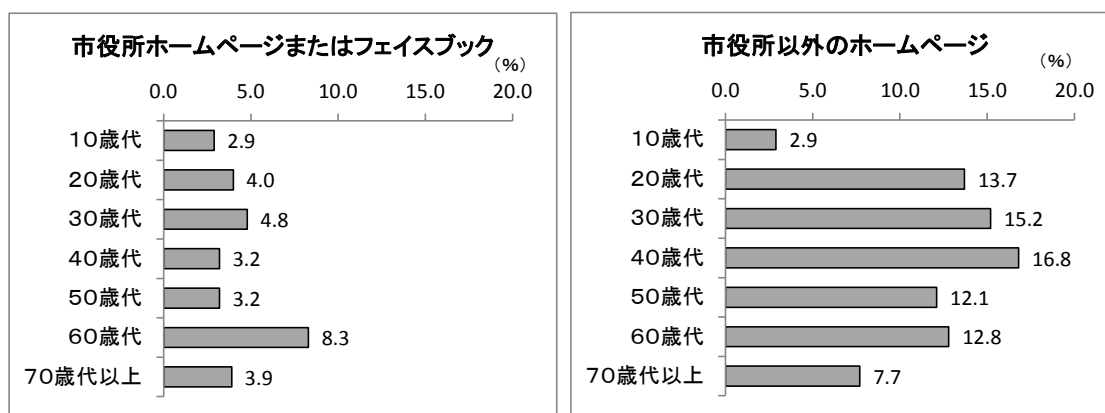
- ・ 館山市の情報入手手段は、首都圏では「テレビ」が最も割合が高く、「雑誌・旅行誌」、「ロコミ・SNS」が続いている。
- ・ 千葉県では、「雑誌・旅行誌」が最も割合が高く、次いで「テレビ」、「市役所以外のホームページ」が続いている。

図表番号 14 情報入手手段

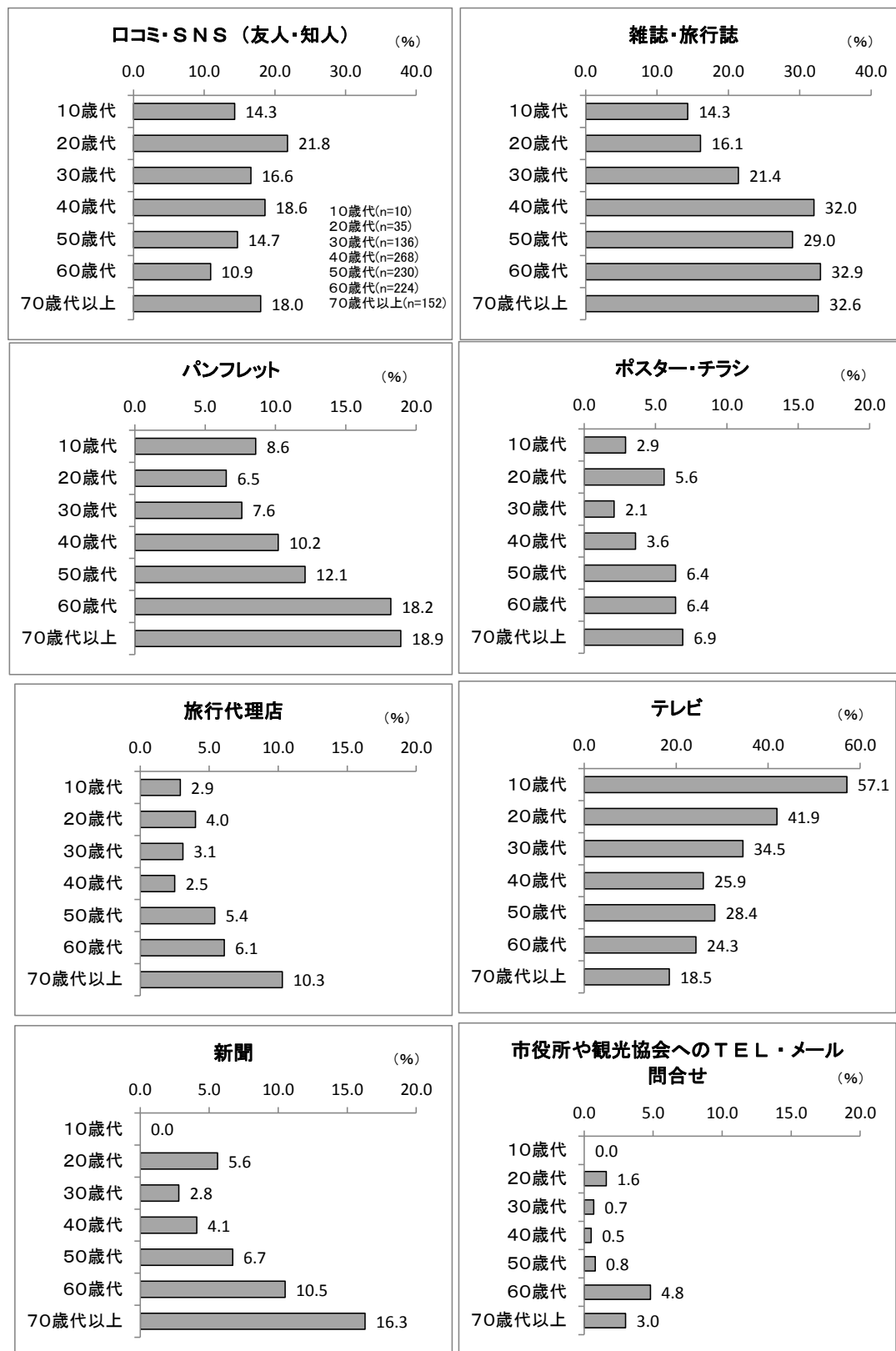


- ・ 情報入手手段を年代別にみると、市役所ホームページやフェイスブックは、割合は少ないが、60歳代が最も高い。
- ・ 市役所以外のホームページでは20～40歳代の割合が高い。

図表番号 15 情報入手手段(年代別)



- ・ 雑誌・旅行誌や、パンフレット、新聞などの紙媒体は、年齢が上がるほど割合が高くなっている。
- ・ テレビは若い世代ほど割合が高い。

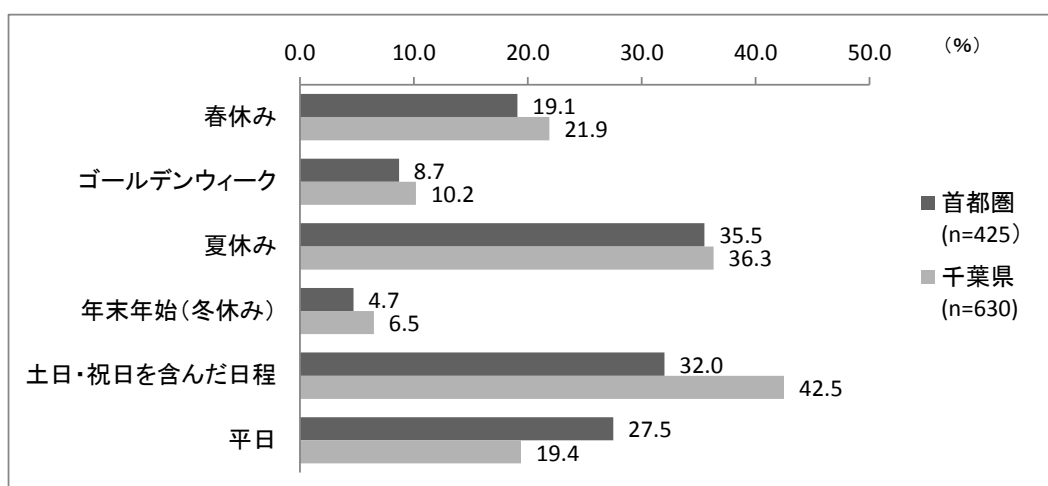


(3) 館山市の観光について

① 来訪時期

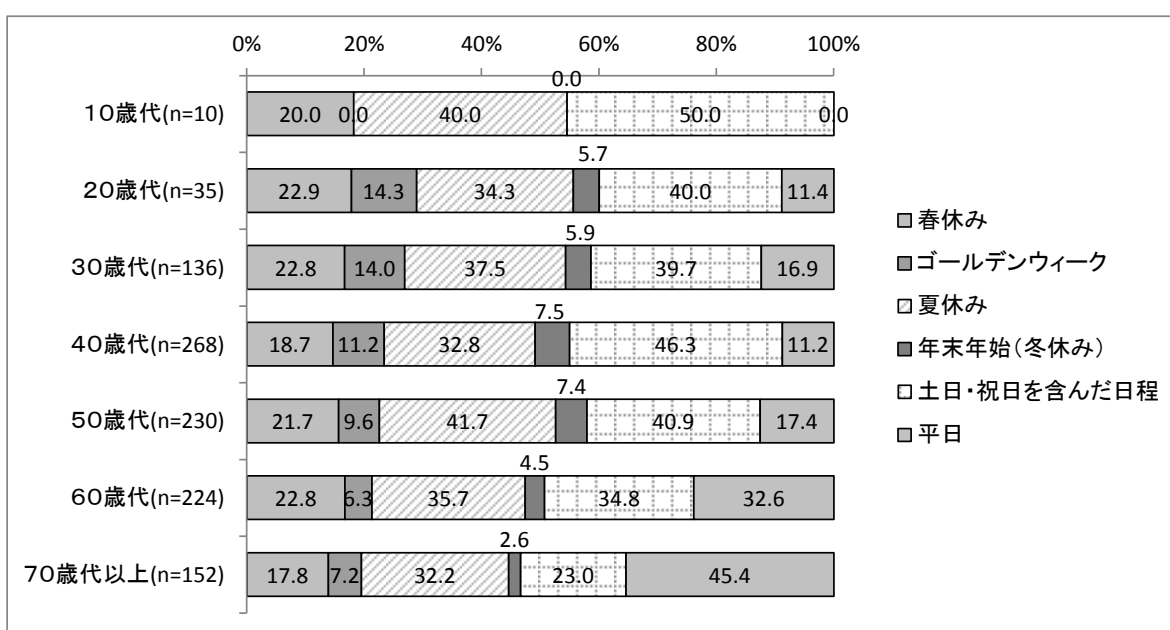
- ・ 来訪時期は、首都圏では「夏休み」が最も割合が高く、「土日・祝日を含んだ日程」、「平日」と続いている。
- ・ 千葉県では「土日・祝日を含んだ日程」が最も高く、「夏休み」、「春休み」と続いている。
- ・ 「土日・祝日を含んだ日程」では、千葉県が首都圏を大きく上回っており、「平日」は首都圏が千葉県を上回っている。

図表番号 16 来訪時期



- ・ 来訪時期を年代別にみると、「平日」は年齢が上がるほど高くなる。
- ・ 「土日・祝日を含んだ日程」は40歳代で高く、「ゴールデンウィーク」は20～30歳代で高い。

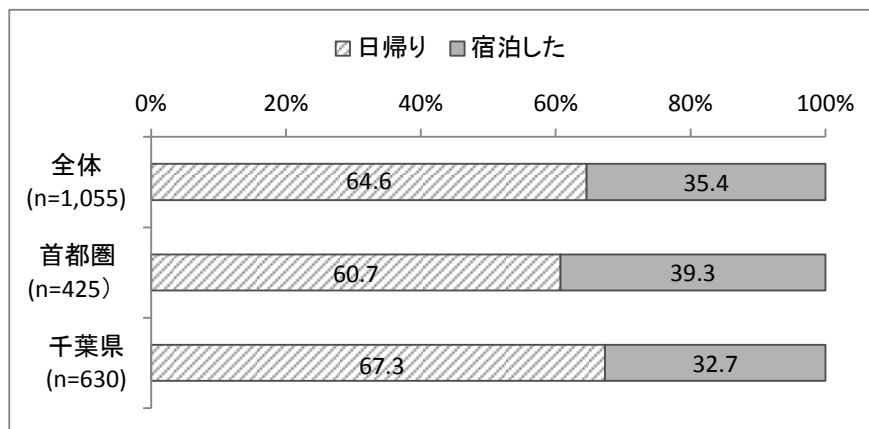
図表番号 17 来訪時期(年代別)



② 宿泊動向

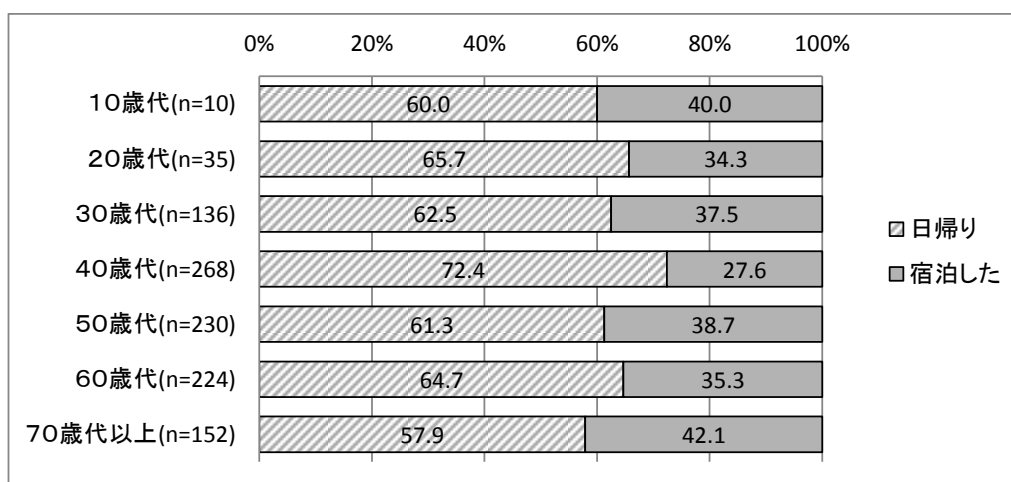
- ・ 宿泊の動向は、首都圏では6割が日帰り、4割が宿泊、千葉県では首都圏と比べて日帰りがやや多くなった。

図表番号 18 宿泊動向

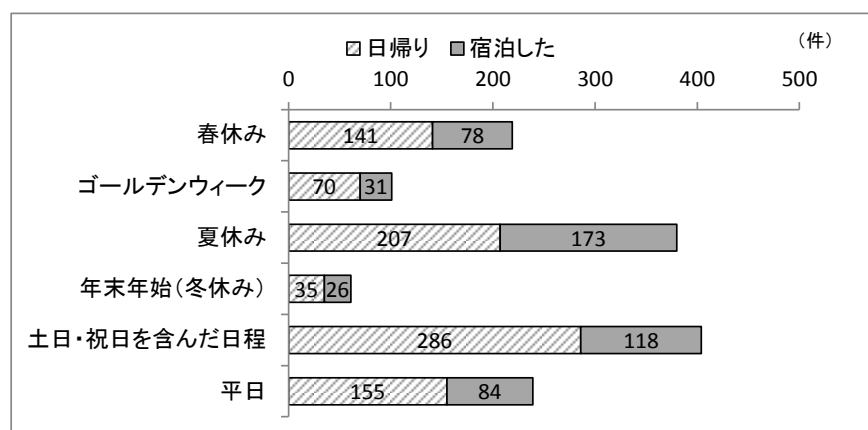


- ・ 年代別にみると、日帰りは40歳代で最も高く、宿泊は70歳以上で最も高い。
- ・ 来訪時期別にみると、来訪件数は「土日・祝日を含んだ日程」が最も多く、「夏休み」が続いているが、宿泊件数は「夏休み」が最も多い。
- ・ 「平日」の宿泊の割合は「土日・祝日を含んだ日程」よりも高い。

図表番号 19 宿泊動向(年代別)



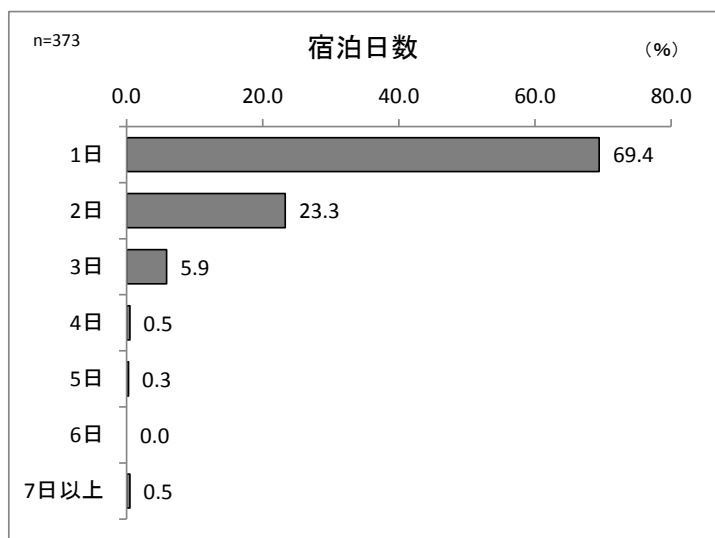
図表番号 20 宿泊動向(来訪時期別)



③ 宿泊日数（総数）

宿泊日数（総数）は「1日」が7割を占めた。

図表番号 21 宿泊日数



④ 館山市内での宿泊日数

- ・ 宿泊日数のうち、館山市内での宿泊日数の割合をみると、宿泊日数が2日のうち、2日とも館山市に宿泊した割合は54.0%、宿泊日数が3日のうち3日とも館山市に宿泊した割合は40.9%となった。
- ・ 少数だが、4日以上宿泊する場合は、すべての日数が館山市内での宿泊となった。

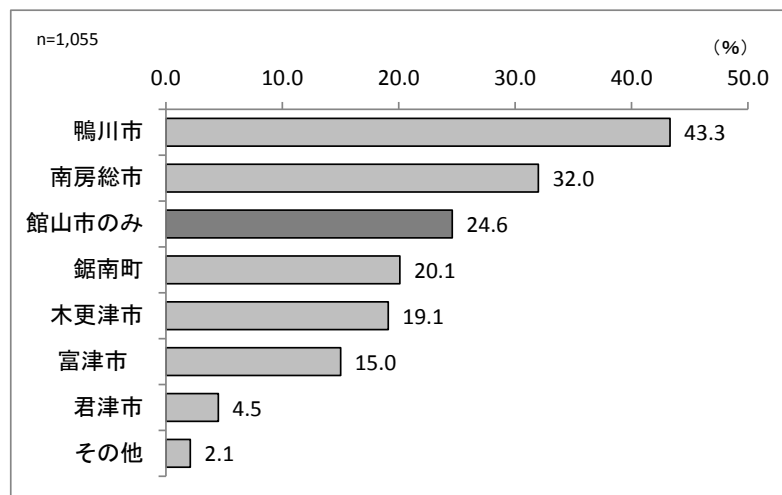
図表番号 22 館山市内の宿泊日数(宿泊日数総数別)

		館山市内での宿泊日数						
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日以上
宿泊日数総数	1日(n=259)	100.0	-	-	-	-	-	-
	2日(n=87)	46.0	54.0	-	-	-	-	-
	3日(n=22)	54.5	4.5	40.9	-	-	-	-
	4日(n=2)	-	-	-	100.0	-	-	-
	5日(n=1)	-	-	-	100.0	-	-	-
	7日以上(n=2)	-	-	-	-	-	-	100.0

⑤ 立ち寄った市町村

- ・ 館山市訪問の際に立ち寄った市町村で最も割合が高いのは「鴨川市」で約4割、次いで南房総市で約3割となった。
- ・ 館山市のみは全体の4分の1となった。

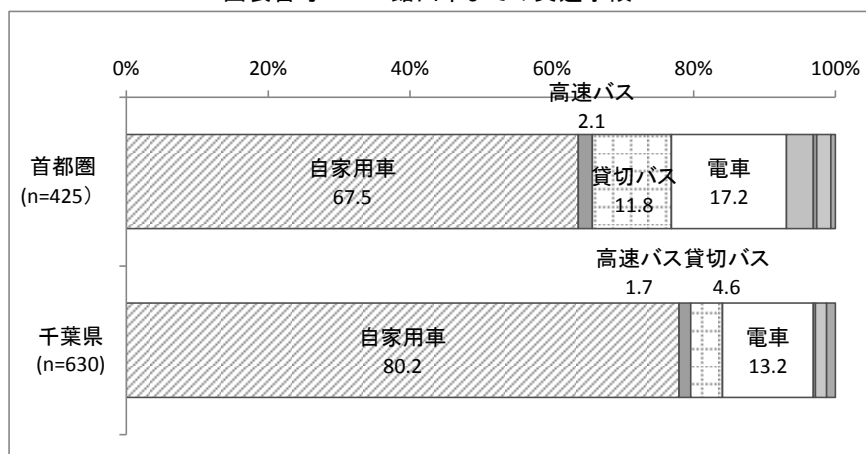
図表番号 23 立ち寄った市町村



⑥ 館山市までの交通手段

- ・ 館山市までの交通手段は「自家用車」の割合が最も高く、「電車」が続いた。
- ・ 「自家用車」の割合は、首都圏より千葉県の方が高く、千葉県では8割を占める。
- ・ 首都圏では「貸切バス」が11.8%となり、千葉県より高い。
- ・ 「高速バス」の割合は「電車」や「貸切バス」より少ない。

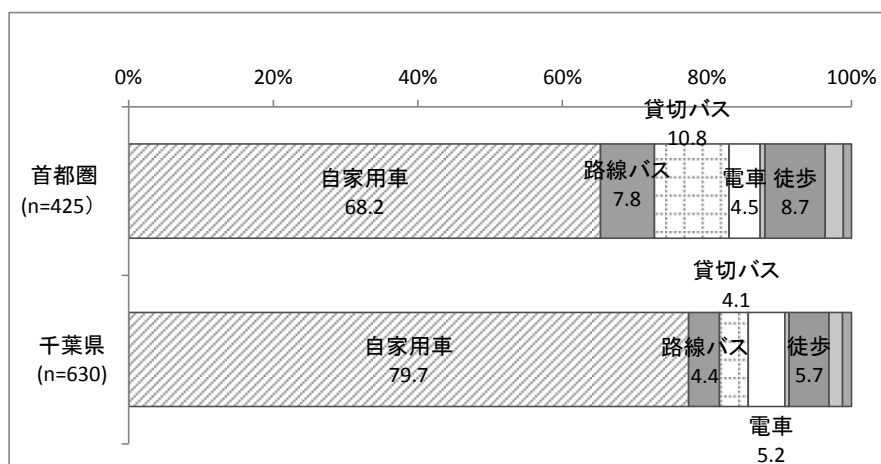
図表番号 24 館山市までの交通手段



⑦ 市内での交通手段

- ・ 館山市内での交通手段は「自家用車」が最も割合が高いが、「路線バス」や「徒歩」、
「電車」なども一定割合みられている。

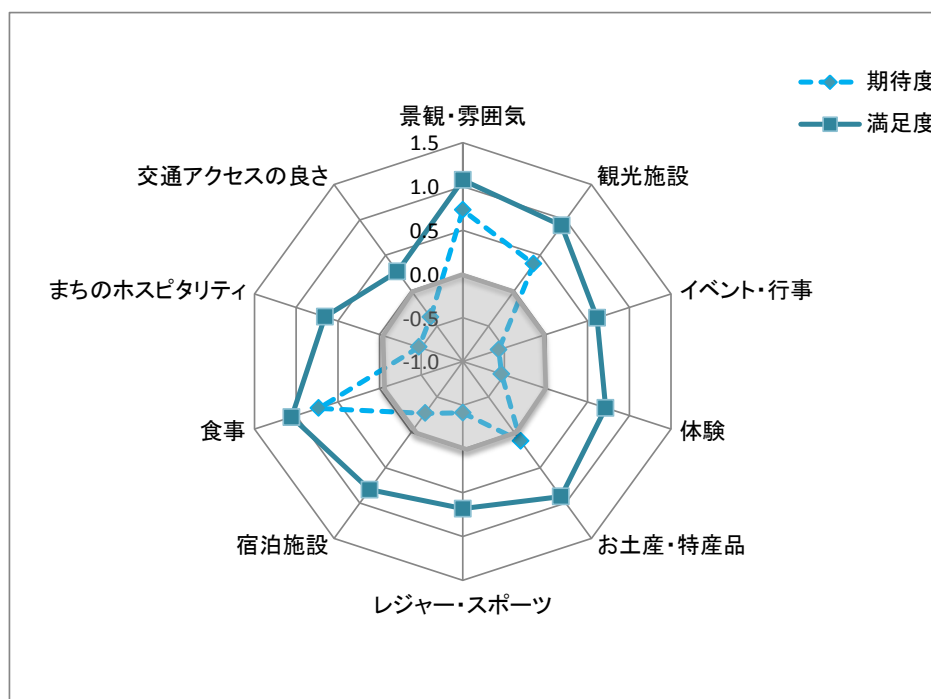
図表番号 25 市内での交通手段



⑧ 観光の期待度と満足度

- ・ 観光の期待度と満足度を指数化して比較すると、すべての項目について、期待度より満足度が上回っており、満足度でマイナス（不満が高い）の項目はない。
- ・ 期待度と満足度の差が少ない項目は「食事」「景観・雰囲気」であり、これらの項目は他の項目に比べて期待度が高い。
- ・ 期待度と満足度の差が大きい項目は「体験」「イベント・行事」となった。

図表番号 26 観光の期待度と満足度(全体)

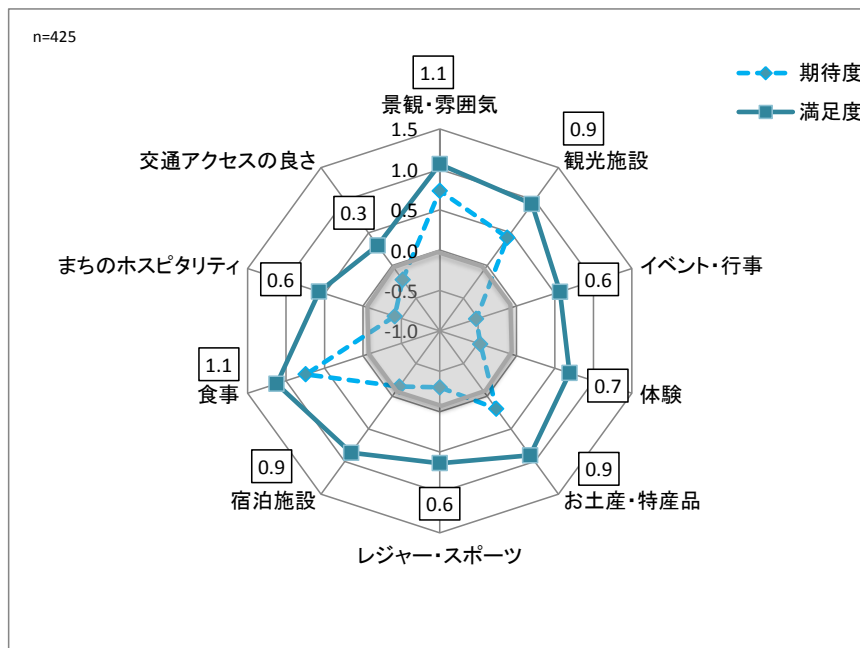


a. 首都圏と千葉県の期待度と満足度

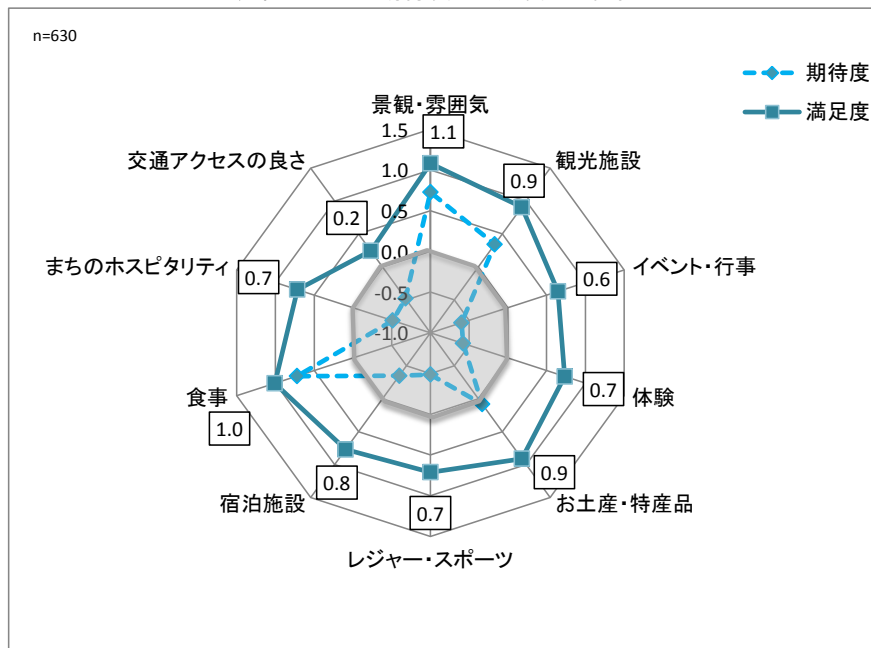
- ・ 期待度の高い項目は「景観・雰囲気」、「食事」であり、これらは満足度も高い。
- ・ 首都圏の期待度と満足度は、すべての項目で期待度を満足度が上回っている。
- ・ 「期待度」に比べて「満足度」の割合が大幅に高くなっている項目は「体験」、「イベント・行事」、「まちのホスピタリティ」となった。
- ・ 首都圏と千葉県で、全体的な傾向に大きな違いはなかった。

期待度指数： $((\text{大いに期待していた} \times 2) + (\text{少し期待していた} \times 1) + (\text{あまり期待していなかった} \times (-1)) + (\text{期待していなかった} \times (-2))) \div \text{回答者総数}$
満足度指数： $((\text{大変満足} \times 2) + (\text{まあ満足} \times 1) + (\text{やや不満} \times (-1)) + (\text{大変不満} \times (-2))) \div (\text{回答者総数} - \text{どちらともいえない})$

図表番号 27 期待度と満足度(首都圏)



図表番号 28 期待度と満足度(千葉県)



⑨ 特に良かったところ・悪かったところ

- ・良かったところについては576件、悪かったところについては295件の意見があった。
- ・良かったところの上位は「食事」や「景観」、「海」などとなった。良かったところとして挙げた項目には、館山市内でない観光地も含まれていた。
- ・悪かったところの上位は「渋滞」、「交通」、「遠い」、「食事」などとなった。
- ・悪かったところとして挙げた項目には、「魅力がない」「さびれている」などの評価も含まれていた。

図表番号 29 特に良かったところ・悪かったところ(5件以上のみ)

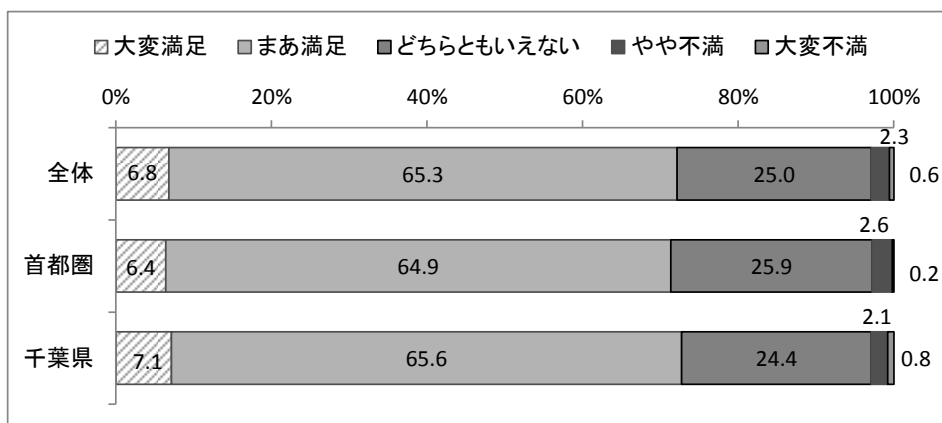
順位	良かったところ	件数
1	食事(新鮮な海産物など)	138
2	景観	102
3	海	78
4	花	26
4	気候	26
6	自然	24
7	宿泊	23
8	ゆっくり	13
9	空いていた	12
10	その他	10
10	のどか	10
12	道路	8
13	人	7
14	いちご	6
14	近い	6
14	空気	6
17	鴨川シーワールド	5
17	子連れ	5
17	道の駅	5
17	雰囲気	5

順位	悪かったところ	件数
1	渋滞	61
2	交通(バス、電車など)	44
3	遠い	28
4	食事	17
5	アクセス	13
6	道路(狭い、わかりにくいなど)	12
7	宿泊施設	11
8	面白くない(魅力がない)	8
9	さびれている	7
9	観光地少ない	7
11	店少ない	6
11	不便	6
13	殺風景	5

⑩ 全体的な満足度

- ・ 全体的には7割が“満足”と回答している。
- ・ 居住地域による差は、ほとんどみられない。

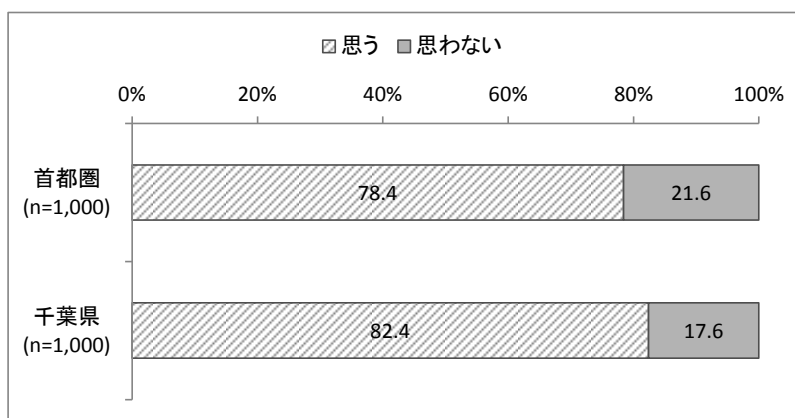
図表番号 30 全体的な満足度



⑪ 再訪の意向

- ・ 再訪の意向については、約8割が「また来たいと思う」と回答した。
- ・ 首都圏より千葉県のほうがやや割合は高くなった。

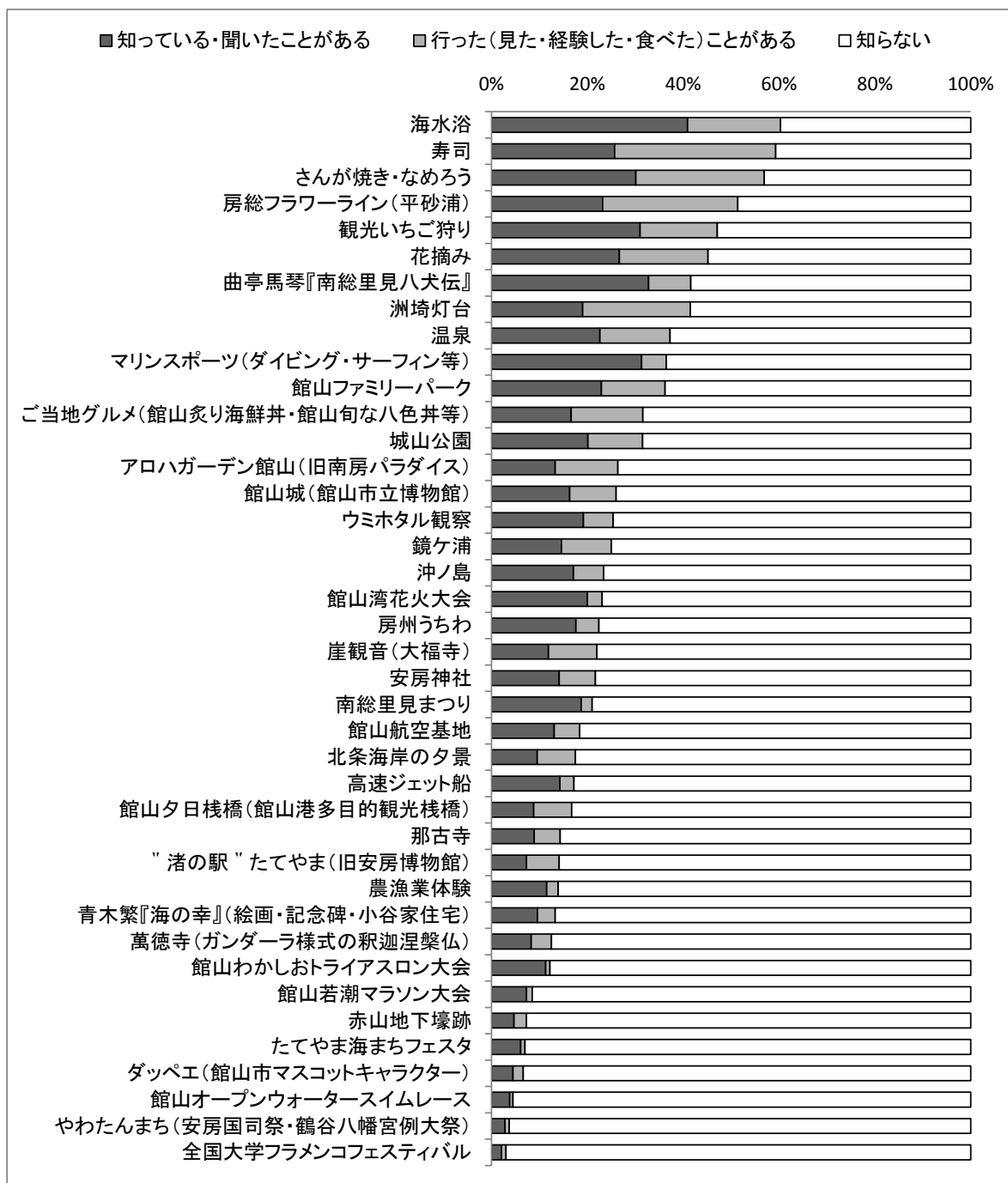
図表番号 31 再訪の意向



⑫ 観光資源の認知度

- ・ 認知度が高い観光資源は「海水浴」、「寿司」、「さんが焼き・なめろう」、「房総フラワーライン」、「観光いちご狩り」、「花摘み」、「里見八犬伝」、「洲崎灯台」などとなった。
- ・ 認知度が低い観光資源は、イベントに集中している。

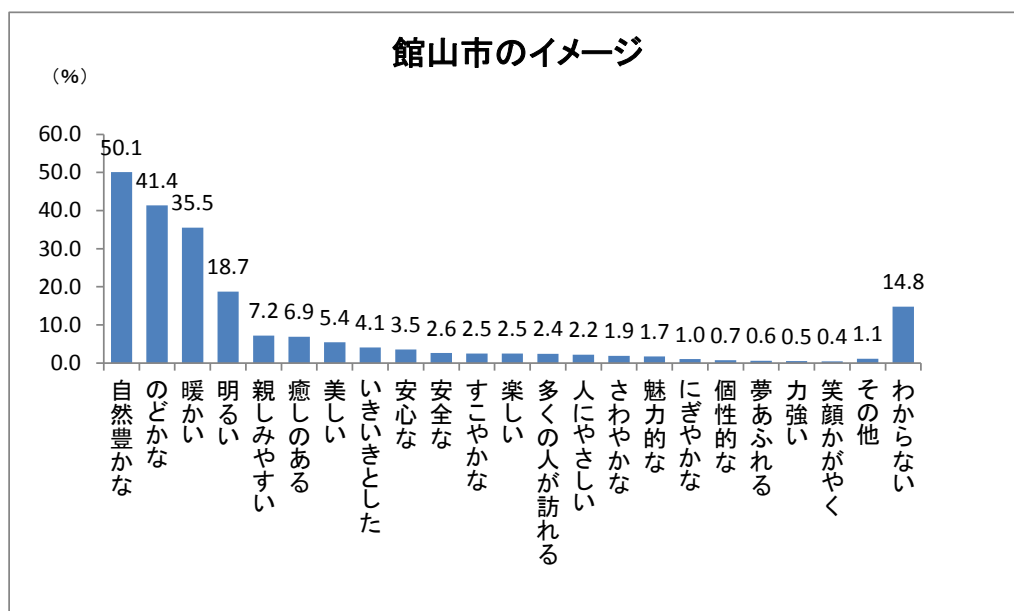
図表番号 32 観光資源の認知度



⑬ 館山市のイメージ

- ・ 館山市のイメージを表す言葉では「自然豊かな」が最も高く、「のどかな」、「暖かい」、「明るい」などが続いた。

図表番号 33 館山市のイメージ

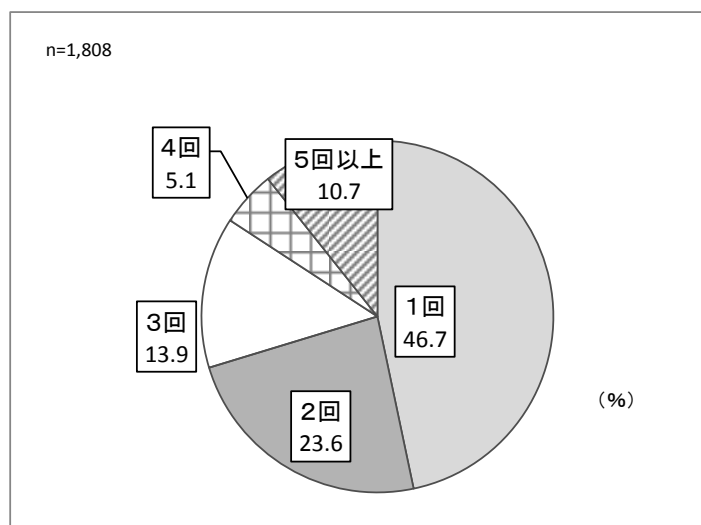


(4) 国内旅行一般について

① 1年間の国内旅行の回数

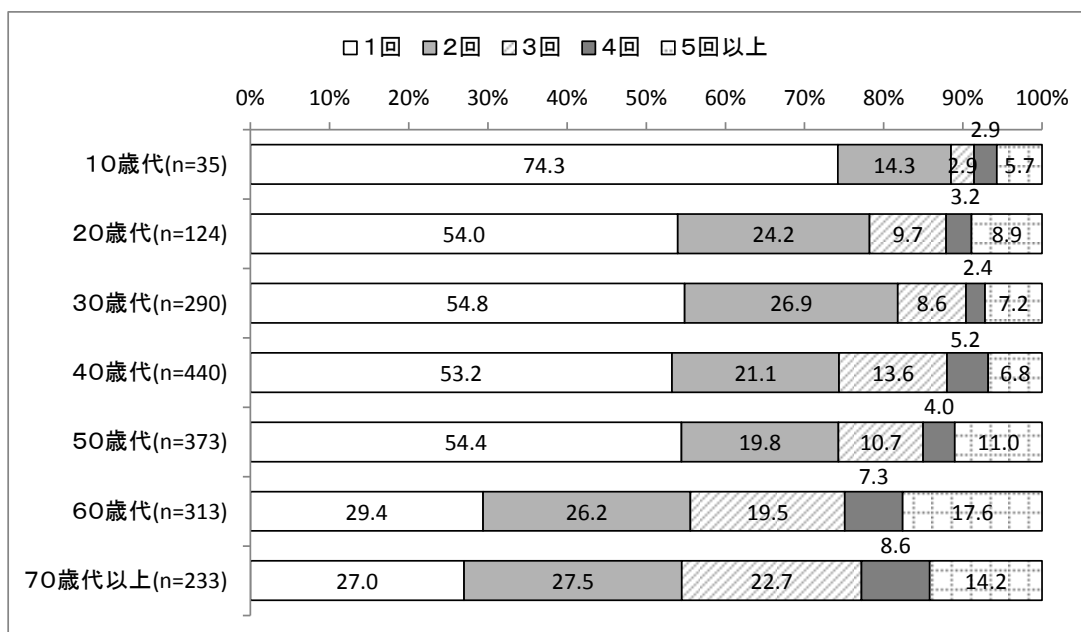
- ・ 1年間の国内旅行の回数は「1回」が最も割合が高く、半数近くを占める。

図表番号 34 1年間の国内旅行の回数



- ・ 1年間の国内旅行の回数を年代別にみると、50歳代より若い世代では、「1回」が半数以上を占めているが、60歳代以上では「1回」「2回」「3回」の割合がほぼ均等となり、「5回以上」も1割を超える。

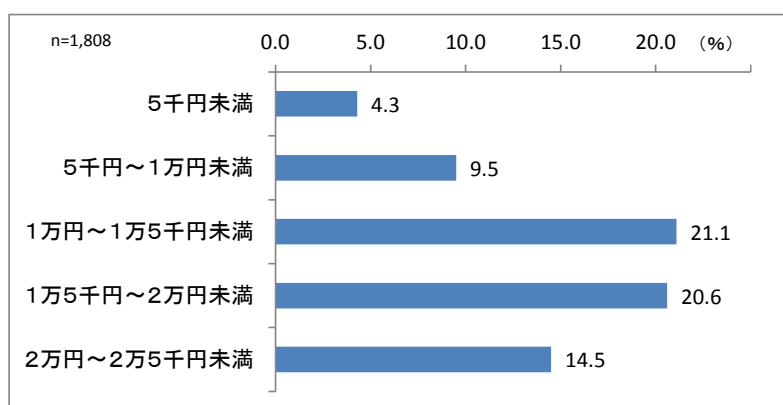
図表番号 35 1年間の国内旅行の回数(年代別)



② 国内旅行一人あたりの予算

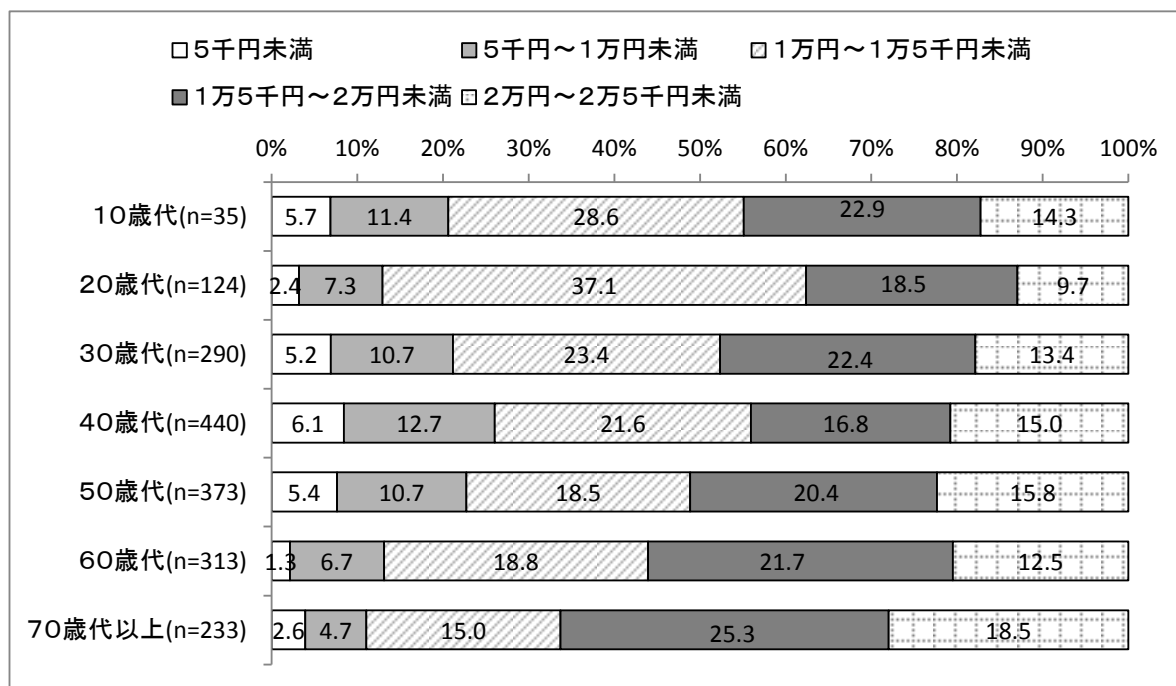
- ・ 国内旅行における一人あたりの予算は、「1万円～1万5千円未満」と「1万5千円～2万円未満」に回答が集まった。

図表番号 36 国内旅行一人あたりの予算



- ・国内旅行一人あたりの予算を年代別にみると、年齢が高くなるにしたがって予算額も高くなる傾向にある。

図表番号 37 国内旅行一人あたりの予算(年代別)

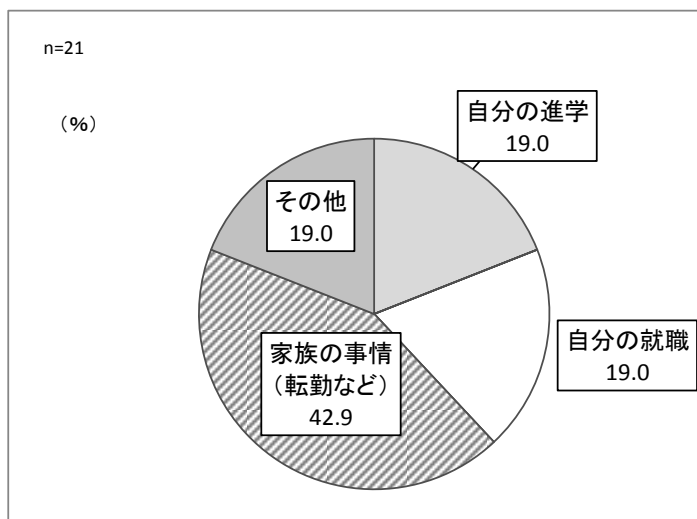


(5) 移住について

① 転出理由

- ・館山市に居住経験がある回答者(21名)に対して、転出の理由を尋ねたところ、「家族の事情」が最も割合が高く、「自分の進学」「自分の就職」が続いた。「結婚」は回答者がいなかった。

図表番号 38 転出理由



② Uターン希望・実現に必要なこと

- ・ 館山市に居住経験がある回答者の、館山市へのUターン希望については、「希望している」は1名のみとなった。「希望していない」は半数、「わからない」は4割となった。
- ・ Uターンを実現するために必要なこととして、「通勤可能な地域に仕事があること」を挙げている。

図表番号 39 Uターン希望

